

火災ゼロ NEWS

安全で安心な暮らしをサポート！
火災予防に関する様々な情報をお届けします。

正しく使えば安全・便利、取扱いを間違えば危険につながる「リチウムイオン電池」について
～ Let's study! ～

いざ! 防災

— 使える防災情報コラム —

『リチウムイオン電池』

充電することにより繰り返し使用できるリチウムイオン電池は、高容量化、小型化が進み様々な商品に使用されています。身近な商品では、スマートフォンやタブレット端末をはじめ、モバイルルーター、モバイルバッテリーといった機器にもリチウムイオン電池が使用されています。

『リチウムイオン電池の危険性』

リチウムイオン電池の内部は**正極と負極の2枚の金属**、さらに正極と負極を分ける**セパレーター**、その間をうめる**電解液**で構成されています。これらの構成が何らかの原因により破壊された時に**発熱**や**発煙**、最悪の場合は**火災**になることもあります。

代表的な事故を引き起こす要因を紹介します。

「衝撃」

落下したりぶついたりすることで電池内部のセパレーターが破壊され、正極と負極が接触することでショートし**発火・発煙**するおそれがあります。

「過充電」

電池の劣化や損傷などの要因と相まって火災の要因となります。専用の充電器以外は過充電を防止する安全装置がついていないこともあり、満充電後も充電し続けることで**発熱・発火**のおそれがあります。

『リチウムイオン電池等の充電式電池が原因の火災』

本組合管内においても近年リチウムイオン電池が起因する火災が発生しています。

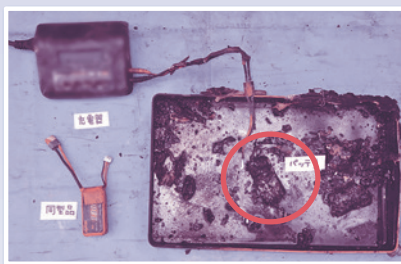
case.1

金属スクラップ工場にて、金属ごみにリチウムイオン電池が混入されていたため、重機で掘削した際にその**衝撃**で内部がショートし火災となった。



case.2

落下させたバッテリーを使用後、**充電中**に発熱・発火し、近くの可燃物に燃え移り火災となった。



充電中に破裂したリチウムイオン電池

case.3

リチウムイオン電池式の照明ライトを**充電し放置**していたところ発熱・発火し、近くの可燃物に燃え移り火災となった。



内部が破裂したリチウムイオン電池

～事故を防ぐ予防策～

- ・異常を感じたらすぐに使用をやめましょう！
 - ①**膨張・発熱・異音・異臭**がする。
 - ②**充電**が最後までできない。
 - ③使用時間が短くなった。
 - ④**充電中**に熱くなる。
 等、異常を感じた際は使用をやめましょう。
- ・専用の充電器を使用しましょう！
接続部が合致するからといって**他社製品**で充電せずに**メーカー指定の充電器**を使用しましょう。
- ・廃棄の際は可燃ごみや不燃ごみと一緒にせず、事業団体が回収するリサイクルに出しましょう！
一般ごみと一緒に捨ててしまうと、ごみ収集車や処理施設で電池が発火し、**火災などの事故**につながるおそれがあります。

〈実験動画の紹介〉

リチウムイオン電池が破裂する動画を公開しています。
右下のQRコードを読み取ってご視聴ください。

